

すいたししゃかいふくしんぎかい
吹田市社会福祉審議会

だい かい しょう しゃせさくすいしんせんもんぶんかかい
■第1回 障がい者施策推進専門分科会

にち じ れいわ ねん がつ にち すい じ
日 時:令和6年8月21日(水)14時～16時

ば しょ すいたしりつせんりやまこみゆ にてい せんたー たもくてきほーる
場 所:吹田市立千里山コミュニティセンター 多目的ホール

しゅつせきしゃ おおやまいいん そうまいいん かわたまいいん くわ た いいん みずしまいいん ふじしまいいん ないとういん みずたにまいいん にしむら
出席者:大山委員、相馬委員、川田委員、栗田委員、水鳥委員、藤嶋委員、内藤委員、水谷委員、西村

まいいん ふ じ の まいいん さかもとまいいん に き まいいん おおえまいいん こんどうまいいん すがわらいいん のむらいいん たか ぎ
委員、富士野委員、阪本委員、仁木委員、大江委員、近藤委員、菅原委員、野村委員、高木

まいいん おおたにまいいん はやしいいん いじょう めい
委員、大谷委員、林委員 以上19名

し だい ぎだい
次 第:議題

- だい きすいたししょう ふくしけいかくおよ だい きすいたししょう じ ふくしけいかく れいわ ねんど
1 第6期吹田市障がい福祉計画及び第2期吹田市障がい児福祉計画の令和5年度
じっせきひょうか
実績評価について
- しゅわげんごとうそくしんじょうれいせさくすいしんほうしん さくてい
2 手話言語等促進条例施策推進方針の策定について
- たしょう ふくしかんれんせさく
3 その他障がい福祉関連施策について

かいぎ けいか
会議の経過

あた しいん しょうかい
新しい委員の紹介

あた じちょうきゅういじょう し しょうかい
新しい次長級以上の市職員の紹介

ぶちやうあいさつ
部長挨拶

- だい きすいたししょう ふくしけいかくおよ だい きすいたししょう じ ふくしけいかく れいわ ねんどじっせきひょうか
1 第6期吹田市障がい福祉計画及び第2期吹田市障がい児福祉計画の令和5年度実績評価に
ついて

(事務局から上記の内容について説明後、質疑応答)

【委員】

- ・資料58ページ「今後の取組」に「こども発達支援センターの障がい児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション等の支援を展開していく。」とあるが、具体的にはどういった支援を行う予定か。

【事務局】

- ・今年度新規事業として、障がい児通所支援事業所に対する当センター専門職による訪問支援事業を展開している。具体的には92か所ある吹田管内の事業所に対して、直接センターの専門職が訪問し、支援の状況を確認して支援者に向けて様々なアドバイス等を専門職の視点で行うものである。

【委員】

- ・資料1-1の「日常生活支援」で「日中一時支援について、事業所支援の在り方を検討」とあるが、私の息子は重度の障がいがあり、来年度高校を卒業し就労予定。ひとりでトイレにも行けず、日中一時支援を利用しようと事業所に問い合わせたところ、吹田市は日中一時支援をやめていく方向で動いていることを聞いた。事業所に対する支援が少なく事業所は赤字覚悟でやっており定員超過で対応できないと言われた。検討しているとあるが実際どうなのか。

【事務局】

- ・事業所の人員配置基準や定員を含めた受入れ人数等の体制については、安全確保ができるかと

いう^{かんてん ひつよう}観点も必要であり、他市^{た しじょうきよう}状況^{かくにん}を確認しつつ、吹田市^{すいたし}も継続^{けいぞく}できるよう検討^{けんとう}を行っている。

【委員】

・資料19ページの相談支援体制の充実・強化について、資料20ページの「今後の取組」に「基幹

相談支援センターの相談支援件数は、対象者の増加とともに年々増えている」とあるが、計画

相談支援の事業所では具体的に何件増えて何件減っているのか。

「基幹業務の委託化」とあるが、もともと吹田市は基幹相談支援センターを市が責任を持って

行うということだったが、このところの流れの中で、認定調査が委託相談支援センターの方に

移管されていたり、窓口業務も出先に移管と、本庁の基幹相談支援センターの職員が障

い当事者と出会う機会が減っているのではないかと。相談員と同じようにケースワークを行って

きた市の職員がたくさんいるのが吹田市の強みであると感じている。このまま委託化に

短絡的に流れてしまうと、培ってこられた現場のケースワークの力を失っていくのではないかと。

相談支援に関しては、件数自体は増えているが、どこの事業者も疲弊して、何とかやりく

りしている。懸念としては、障がい児の件数の伸びと障がい者の件数の伸びを比較すると障

がい者の件数の伸び率が高いように見えるが、障がい児の相談支援のもとと充足していな

い部分と、障がい者の支援が得意な事業所をどのようにつなぐのかという枠組みについて

今後話し合ってほしい。障がい児の支援が得意な相談員が障がい者の支援をして事務的口ス

が出るようなことがないようにしていただきたい。

【事務局】

・基幹相談支援センターの相談件数は、令和3年度が1,208件、令和4年度が2,109件、令和5

ねんど 年度が3,037件。今、御指摘のあったケースワーク業務について、基幹相談支援センターに10

めいしょくいん 名職員がおり、うち主査級を3名配置している。また、虐待防止センターについても

ケースワークになり、主査1名と主任・係員3名を配置している。年々精神通院者の数や手帳数

も増えており、現場対応や訪問等を行っている中、相談支援センターに委託している部分を

含めても事務量は増えてきており、しっかりとフォローアップ体制をとっていきたい。

基幹相談支援センターの委託の検討について、今年度から新たに5年間の相談支援センター

強化のための契約を行い、2センターにおいては業務量に応じて人員増の予算をつけた。5

年間で、基幹相談支援センターから相談支援センターの方をお願いする業務については、

人件費を増やすなど対応するが、基幹相談支援センターと相談支援センターで連携し、チーム

として考えていきたい。また、今後委託を進めるにあたって、ケースワークは基礎となる部分だ

と考えているので、そこを行政の職員が担えるというところは担保していきたい。

【委員】

・資料1-1の14行目ウの「成年後見制度利用支援事業、成年後見制度法人後見支援事業」、

資料1-2 通し番号37ページについて、総合評価「C」ということで、まだまだ課題が多いのか

なと拝見している。37ページの「今後の取組」に「中核機関と密に連携をとることで～」と

書かれているが、令和6年7月に「けんりサポート吹田」の名前で吹田市から吹田市社会福祉協

議会が受託し、この名前で成年後見制度の取組に向けて動いている。総合評価の結果から、ま

だまだ業務に関する周知・取組を行っていないかと思う。相談については障がい

者の方や家族だけでなく、地域にある障害者相談支援センターの職員からも受け付けを

おこな かくしゅでまえこうざ せつきよくてき おこな よてい しゅうち みな りかい
行っており、また各種出前講座も、積極的に行っていく予定なので、周知して皆さんのご理解
が深まればいいのかと思う。また市と協議をしながら進めていきたい。

【委員】

・資料1-1(2)地域生活支援事業についての「工」「意思疎通支援事業、専門性の高い意思疎通
支援を行う者の養成研修・派遣事業」について(資料1-2の方では、32ページ、33ページ)。
専門性の高い意思疎通支援の派遣事業について実績がゼロになっている。主催者が例えば
NPOや個人事業者であると、予算がないため難しいということで通訳の派遣ができないこ
とがある。一方で、専門性の高い通訳者は、やはり必要になると思うので実績なしでは困る。
意思疎通支援事業の手話通訳の派遣の実績数はたくさんあるが、専門性になるとどうして
実績なしなのか。

【事務局】

・専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成・派遣事業については、大阪府及び府内の指定
都市及び中核市と共同で実施している。市町村間の連絡調整や、広域的な対応が必要な事業
として実施しており、件数については年度が終わった段階で、大阪府から数値としてもらい、
結果として、ゼロということもあるが、体制としては広域的な形で実施している。運用につい
ては、府が団体に委託して行っているが、専門性の高い意思疎通支援については需要の関係も
あり、数値としては、低調であると考えている。

【委員】

・大阪府との関係とのことだが、吹田市に対して通訳派遣を依頼しても、大阪府が難しいと言われたという回答もあった。そのため、市の判断で通訳派遣ができるようにしていただきたい。中核市であるので、主催する団体、例えばNPOなどに助成金を出すとか、市が通訳を派遣するとかいうことも考えていただきたい。実際に私も手話通訳をお願いし、これは難しいと断られた経験があるがそれでは困る。予算のない団体も、通訳を付けたいけれどできず困っている団体もたくさんある。

【事務局】

・手話通訳の派遣については、なかなか要望に応じられていない部分があることは認識している。他市の事例や先行の事例等を調べ、今後は少しでも改善できるように努める。

【委員】

・グループホームの整備や充足は進んでいるが、障がい者が重い人や支援度が高い人は、現行の国の制度では受け入れが難しい状況である。また令和6年度報酬改定でも、区分5以下の人は全員基本報酬が下がっている。今後のグループホームの経営が心配である。運営の補助・補填をしないと、十分な人員が置けないということになるかと思うので、よろしくお願いしたい。

【事務局】

・グループホームの重度化、高齢化の対応が課題であるとは認識している。昨年度の専門分科会で、グループホーム整備方針案を報告させていただいて、ホームページにも掲載している。

報酬の範囲で対応できないような方への支援策は、引き続き検討していく。

【委員】

・今後の取組について障がい者の社会参加や切れ目のない支援体制のために様々な機会や

仕組みが生まれており、その中に相談支援がある。将来の課題として市役所の連携課題や

センター以外の委託事業者との連携がある。吹田市の相談支援体制全体を考えるような取組
を考えていきたい。

・障がい児福祉計画の通し番号56ページにも「切れ目のない支援」と出てくるが、子どもから

高齢者までの相談支援というところで課題分析をする時に、アセスメントを一つの所だけやる
のではなく、吹田市の相談支援体制全体を通してやっていければと思う。

2 手話言語等促進条例施策推進方針の策定について

(事務局から上記の内容について説明後、質疑応答)

【委員】

・専門分科会の中の作業部会でいろんな意見や要望をまとめることになると思うが、その前に

聴覚障がい者やコミュニケーション支援が必要な人など、当事者の声をもっと集めなければな

らないと思う。協議会などで当事者の声を出し合ってそれを共有するというやり方も考えて

ほしい。実際に、明石市では当事者の声を集めて、市がその声に対して回答をしていると

聞いている。吹田市でも実施できるよう検討してほしい。

・72ページの推進方針で「●：既に実施中」「○：今後検討」とあるが、「実施中」だからこれで

お 終わりで 困る。今 取組 では 足りない ところ も たくさん あるので、その 中身 を 充実 して 範囲
を 広げると いう 考え方 を 持 っ て 取 組 ん で ほしい。また、専門 性 の 高い 手話 通 訳 の 派遣 につい
ても、例 えば 吹 田 市 民 病 院 で 専門 性 の 高い 手話 通 訳 者 を ぜ ひ 設 置 し て い た だ き た い と 以 前 か
ら 要 望 し て い る が、今 は 病 院 の 受 付 に 「手話 通 訳 者」で は な く 「手話 が でき る 人」が 設 置 さ れ て
お り、案 内 だ け し か し て く れ な い。病 院 に 行 き た い 場 合 は、事 前 に 障 が い 福 祉 室 へ 手話 通 訳 の
予 約 を 依 頼 し て、一 緒 に 診 て も ら う と いう 方 法 に な っ て い る。い つ で も ど こ で も 病 院 に 専門 性
の 高い 手話 通 訳 者 を 設 置 し て ほ し い と 思 っ て い る。また、病 院 以 外 の と こ ろ で も、手話 通 訳 者
が 設 置 さ れ て い な い と こ ろ が た く さ ん あ り、手話 通 訳 派 遣 を お 願 い し て も でき な い と 言 わ れ る
こ と も あ る。当 事 者 の 生 活 の 状 況 に 合 わ せ て 通 訳 の 派 遣 が 必 要 だ と 思 っ て い る の で 検 討 し て
ほ し い。

【事務局】

- ・当 事 者 の 方 々 の 意 見 を 聞 く 場 と し て の 協 議 会 の 設 置 に つ い て、現 在、吹 田 市 で は、関 係 し て い
る 所 管 室 課 に 寄 せ ら れ た 声 を、そ れ ぞ れ で 対 応 し て い る。今 回 の 施 策 推 進 方 針 の 庁 内 作 業
部 会 で は、当 事 者 の 声 を 集 め て 対 応 を 協 議 し た い と 考 え て い る。当 事 者 の 声 は 非 常 に 大 事 な こ
と だ と 考 え て い る の で、し っ か り と 皆 様 の お 声 に 応 え ら れ る よ う 引 き 続 き 検 討 し て い く。
- ・市 民 病 院 に 対 す る 要 望 は、市 民 病 院 を 所 管 し て い る 健 康 医 療 部 に も 伝 え、対 応 を 呼 び か け て い
く。

【委員】

- ・資 料 2-4 の 「手話 言 語 等 促 進 条 例 施 策 推 進 方 針 策 定 ス ケ ジ ュ ー ル」の 2 番 の 「手話 言 語 等 促 進
条 例 作 業 部 会 (聴 覚 ・ 視 覚 障 が い 者、学 識 経 験 者 等)」と 5 番 「手話 言 語 等 促 進 条 例 作 業 部 会

(^{ちやうないかんけいしつか}庁内関係係課)」はどのように^{れんけい}連携を取っていくのかを^{おし}教えてほしい。当事者の^{とうじしゃ}意見を^{いけん}1回^{かい}しか聞^きいていない^{じやうたい}状態で^{こっしあん}骨子案を作成する^{さくせい}スケジュールに^{すけじゅーる}見えるが、ちゃんと^{れんけい}連携が^と取れているのか^{おし}教えてほしい。

・資料2-5の^{しりよう}推進方針1の^{すいしんほうしん}主な取組に「^{おも}パンフレットや^{とりくみ}ポスターを^{ばんふれっと}用いた^{ぼすたー}啓発」とあり、^{もち}阪急電車^{けいはつ}で^{はんきゆうでんしゃ}手話や^{しゅわ}点字^{てんじ}に関する^{かん}ポスター^{ぼすたー}を見^みかけたが、^{がつまつ}6月末に^{けいさい}掲載が^お終わると^き聞^きいた。^{げんざい}現在^{ぼすたー}はポスター^{けいさい}の掲載^{おし}はしていないのか。

・資料2-5の^{しりよう}推進方針1に「^{すいしんほうしん}未就学施設や^{みしゅうがくしせつ}学校^{がっこう}における^{しゅわ}手話^{せつ}に^{きかい}接する^{ていきよう}機会の^{ていきよう}提供」とあるが、^{ちやうかくしやう}聴覚障がい^じ児^{たい}に対する^{みしゅうがくしせつ}未就学施設^{ほんとう}が^{じっせき}本当に^{おし}できているのであれば、^{おし}実績^{おし}を^{おし}教えてほしい。
「^{がっこう}学校における^{しゅわ}手話^{せつ}に^{きかい}接する^{ていきよう}機会の^{ていきよう}提供」とについても^{すいたみなみしやうがっこう}吹田南小学校^{しゅわ}で^{べんきやう}手話^{べんきやう}の^{べんきやう}勉強^{べんきやう}をしていると^き聞^きき、^よすごく^{とりくみ}良い^{おも}取組だ^{おも}と^{こう}思^きっているが、^{こう}1校^きだけだと^{ほか}聞^きいている。^{ほか}他にも^{じっせき}実績^{おし}があれば^{おし}教えてほしい。

【事務局】

・^{ちやうないさぎやうがかい}庁内作業部会^{ちやうがいさぎやうがかい}と^{れんけい}庁外作業部会^{ちやうがいさぎやうがかい}の^{ちやうがいさぎやうがかい}連携^{がつみつか}について、^{だい}7月3日^{かい}(第1回)と^{がつ}8月28日^{だい}(第2回)の^{かい}合計2回、^{かい}当事者の^{とうじしゃ}声^{こえ}を^き聞^きく^{きかい}機会^{もう}を^{ちやうない}設^{ちやうがい}けている。^{はな}庁内・^あ庁外^{はな}で^あ話^あし^あ合^あったことをそれぞれ^{ほうこく}報告^あし^あ合^あい、^{せさくすいしんほうしん}施策推進方針^{じつたい}を^{ちか}より^{せいど}実態^{たか}に近いものとして^{せいど}精度^{たか}を高^{たか}めていけるよう、^{れんけい}と^と連携^とを取^とっている。

・^{おも}主な^{とりくみ}取組^{くろまる}の^{かしよ}黒丸^{じっし}の^い箇所^いが、^{いけん}実施^{いけん}できていると^{いけん}までは^{いけん}言^{いけん}えない^{いけん}のではないかという^{いけん}意見^{いけん}について、^{こんご}今後は「^{いちぶじっし}一部実施」という^{こうもく}項目^{あら}を^{もう}新^{よてい}たに^{しりよう}設^{しめ}ける^{げんじてん}予定^{げんじてん}である。^{しりよう}資料^{しめ}で^{しめ}お示^{しめ}したのは^{げんじてん}現時点^{げんじてん}の^{とりくみ}取組^{じっさい}で、^{じゅうばん}実際^{ごいけん}は^{ごいけん}十分に^{ごいけん}できていないと^{ごいけん}御意見^{ごいけん}いただくと^{ごいけん}ころも^{ごいけん}あり、^{ごいけん}そこは^{ごいけん}申し^{ごいけん}訳^{ごいけん}ないと

おも 思っている。はんきゅうでんしゃ けいじ 阪急電車に掲示していたポスターについては、えすでいーじーず とれ いん はし S D G sトレインが走っている期間
にあわせて けいさい 掲載するという 話はななし になっていたのも、げんざい けいさい 現在は掲載されていない。いま じっし 今
は実施できて
いないという ぐして き 御指摘はあると思うが、こんご 今後はそういった点も含めて、てん ふく せ ざく すい しん ほう しん 施策推進方針について、
さいどきようぎ 再度協議をしていく。

みしゅうがくしせつ がっこう 未就学施設や学校における とりくみ 取組について、げんじょう 現状では ちやうないさぎようぶかい なか たんとう がっこうしよくいん 中
で、担当の学校職員か
ら ひ あ り ん ぐ ヒアリングをしている。ほいくえん 保育園については、とういつてき たいおう 統一した対応ではないが、いちぶ こども しゅわ 一部で子供たちに手話
をつか 使って、ほいく 保育をしていると きてい 聞いている。しょう ちゅうがっこう 小・中学校については、そうごうがくしゅう じかん せいと 総合学習の時間で生徒に
しゅわ おし 手話を教えている。その他にも、ほか てんじ くるまいすたいけんとう じっし 展示や車椅子体験等、実施していると聞いているが、どこの
がっこう 学校で どういった じぎょう 事業を実施しているかまでは はあく 把握できていない。

【委員】

さぎようぶかい 作業部会のメンバー5人中2人しか 当事者がいない中でも、これだけ あたら してん いけん 新し
い視点での意見が
で 出るのかというのが がつみつか ちやうがいさぎようぶかい さんか さい かん 7月3日の 庁外作業部会に参加した際に 感じたことである。しょう しゃ 障がい者の
けんりじようやく こくれん さくてい 権利条約を国連で策定していった中で「私たちが抜きに私たちのことを決めないで」というの
が きゃっつふれーず になったが、とうじしゃ してん 当事者の視点というのは、きこえたり みえたり する人には 想像
がつかないようなところで ひ 引っかかるものである。

わたし があつ しりょう み 分厚い資料を見ながら かいぎ さんか 会議に参加できるが、しかくしやう 視覚障がいのある ざぎようぶかい いん じぜん だれ 作業部会員は事前に誰か
に よ ん で も ら っ た も の を 聞いて、いっしょうけんめい おぼ 一生懸命覚えこんでから さんか 参加していると おっしゃっていた。も
し かいぎ しりょう てきす と で た 会議資料が テキストデータなら、ば そ こ ん よ あ そ ふ と さいせい 再生したものを 聞きながら かいぎ
に参加できると おっしゃっていて、そういう してん め 視点が 抜けていたなと きづ 気付かされた。

・手話言語等促進条例は、手話言語の普及および障がい者の意思疎通手段ということで、
 聴覚障がい者・視覚障がい者以外にも、例えば脳性麻痺で言語障がいの方が、いくらしゃべっ
 ても話してる発語を理解してもらえないというしんどさ。こういうところまで広がっていか
 ないと、この条例ができて、障がいのある方のコミュニケーション手段が利用しやすいま
 ちにはならないと思っている。そうやってお互いに様々な障がいについて理解し合うこと
 で、吹田市はお互いに思いやりのあるまちになると思う。

・主な取組で白丸になっている「市内大学の学生の手話サークルと連携した取組」とあるが、
 聴覚障がい者の当事者が手話サークルに来て教えてくださり交流することは、す
 ぐらモチベーションが上がるものである。本当に聞こえない人から学び、聞こえない人
 に手話が通じた瞬間の喜び。そういうことで当事者の力も借りながら、本当に誰もが住み
 やすいまちを作っていけると思うので、作業部会の中でできることがあったら協力
 したい。今後とも御提言よろしくお願ひしたい。

【委員】

・今回の手話言語等促進条例の中に聴覚過敏の問題は取り上げているか？

【事務局】

・現状では聴覚過敏の問題は取り上げていない。今後、作業部会等で検討していき
 たいと思っている。

3 その他障がい福祉関連施策について

①令和5年度施設整備実績報告について

② 障がい者福祉年金の廃止財源による令和6年度の新規・拡充事業の報告

(事務局から上記の内容について説明後、質疑応答)

【委員】

- ・障がい者福祉年金が9月の給付で最後になるということをわかっていない利用者の方がいたが大丈夫か。また廃止によってどのような影響があると考えているか。

【事務局】

- ・障がい者福祉年金の支給対象者の方には個別に廃止の案内をしている。市報・ホームページでも、制度を廃止することを周知している。
- ・影響の問題については、当事者の声を聞かなければならないと考えている。どのような方法がより効果的かは、これから検討し、何らかの対応をしていきたいと考えている。

【委員】

- ・資料3-2 の財源の活用事業一覧について、拡充した事業だけで表を埋めるのではなく、新旧の事業トータルでどうなるかをとらえていく必要があると思う。
- ・今年度1億1000万円で、来年度、障がい者福祉年金が廃止になると、2億円近い財源になる。他にスクラップされている事業もあるので、その財源も合わせて、次は重度についての施策をどう作っていくのか、見える形で施策の検討をしていただきたい。

【委員】

- ・8月13日に東京で、障がい者5,000人が解雇や退職。就労継続支援A型作業所が329か所

へいさ
閉鎖された。すいたし
吹田市はどのようなじったい
実態なのかおし
教えてほしい。

じむきょく
【事務局】

ほうしゅうかいてい
報酬改定で、ちいき
地域によって、ちんぎん ひく
賃金が低い事業所については、ちんぎん だいしやう
賃金の大小によってめりはりをつ
けるという意味で、ほうしゅう まい な す
報酬がマイナスになったという はなし き
話は聞いている。けいえい きび
経営が厳しいというこえ
聞いているが、すいたし ない
吹田市内の就労継続支援A型作業所がどうかまでは、まだじったいはあく
実態把握をしてい
ない。

③だすきん みすどみゅーじあむ
③ダスキン「ミストミュージアム」のりにゅーある
リニューアルについて

いいん じょうき ないよう
(委員から上記の内容についてせつめい
説明)

じむきょく
事務局から連絡事項

じむきょく
【事務局】

さくねんど しょう
昨年度、障がい者支援プランの策定に向けて実施したあんけーと
アンケートのさいしゅうてき
最終的な報告書を10月に
ほーむぺーじ
ホームページに掲載予定。しょう
障がい者支援プランのページに掲載するよてい
予定なので、み
見てほしい。

しかい だい かいせんもんぶんかかい
次回、第2回専門分科会は、れいわ ねん がつ
令和7年1月から2月にかけてかいさい
開催するよてい
予定である。しょうさい き
詳細が決まり
しだい
次第お知らせする。

いじょう
(以上)